

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・夏物の準備が始まって、やや良くなっている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク10連休の影響や、各種イベント等の集客施策の実施などにより、3か月前との比較では来客数が増加している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・この時期に猛暑が続いたので、エアコン等の購入が早まってきている。
		スーパー（経営者）	それ以外	・今月26日時点で、前年比で売上は33%増、来客数は7%減である。何が原因か分からないが、1～5月の来客数は1～7%減と、2年前と比べても減少している。外販やケータリングは順調で、6月末までは非常に忙しい。店舗前面道路が開通して2か月経過し、多少はプラスだと思うが実感はない。近隣の酒屋が閉店したので、今後その仕事を引き継ぎ、売上は増加する。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車効果もあり、新車販売は増加傾向にある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・10連休の観光客の人出はすごかった。いつものゴールデンウィークの倍くらいは来客数があった。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・インパウンドが好調で、日によっては宿泊客の8割以上が外国人旅行者という状況である。近隣空港への直行チャーター便にも助けられている。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・個人消費に関しては10連休がプラスに動いている。通常の連休等よりも、消費単価が大幅に伸びている。しかし、法人関係の利用は皆無に等しく、全体的な売上だけ見ると、大して変化はない。宿泊が大幅に伸長したことで、収支的にはプラスに推移している。連休後は反動減があり、全体的には連休のみ稼動した月となっている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・大型連休の影響で増益となっている。連休後の客足も減っていない。労働力の確保が課題である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・10連休だったため、客が当店にはほとんど来なかった。この連休は、小さな物販店は大変だったのではないかと。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型連休の人出は例年になく多かったが、連休明けは反動が大きく、すっかり暇になってしまっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・連休中から連休明けも、商材や業務発生の動きは共になく、静かである。中旬からの気温の変化で、エアコンの動きは良くなっているが、他の商材の動きは悪い。相変わらず、必要な物への消費のみという姿勢がみられる。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・10連休の貯金があるので、変わらない。その後も暑さで安定している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月初めに大型連休があったが、その辺りも余り良くなかった。気温も前年並みに上がってきているが、今年は水物が極端に出るとかの傾向はないので、余り良くないというか、この2～3か月は変わらない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・前月同様、来客数は年々減少傾向である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・連休中、仕事をしなくても各メーカーの部品供給がなく、連休後に忙しさだけが増した。車両販売、整備売上共に、横ばい状態である。
	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・10連休が終わり、報道では景気はやや後退しているとされているが、周囲の様子を見る限り、今までと変化は感じられない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・5月1～6日までのゴールデンウィークは宿泊、レストラン共に、前年に比べ個人の動きが非常に好調だった。ただ、5月が終わってみれば、前年とほぼ変わらない。	
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク10連休は、安定した来場組数であった。予約状況は前年をクリアしているが、料金の高い土日の予約がもう一歩である。平日は年配者が多く、客単価上昇は難しい。	

	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月の葬儀依頼は少ない。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼量は多く、下請に出さないと間に合わない状況が続いている。
	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・連休中は来客数が1割強増加したものの、別荘売買の動きは鈍く、低調である。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・開店休業という言葉どおりの街なかの様子である。来客は、もともと当店で用事がある方が、当店にしかない物を求める方以外はない。衝動買いという言葉が懐かしい。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこを含めた商品価格の上昇により、売上は前年並みだが、来客数の伸長は乏しく、継続伸長は難しいと感じている。
	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・製造業勤務の客が平日に来店したので話を聞くと、「工場が稼働日数を減らし、正常化は未定」とのことである。夏のボーナスも、不安だと話している。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・毎年ゴールデンウィークには期待するものの、観光地へ客が流れてしまっている。
	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・10連休の反動がとても大きく、今月の売上は近年で最低で、4月よりも悪くなっている。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・米国と中国の貿易悪化により、企業に影響が出始めている。先行き不安から企業旅行が延期や中止、規模縮小など、受注に陰りが出ている。海外出張なども減少しており、今後の受注への影響が懸念される。
×	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競合各社の情報によると、売上低迷でチラシ広告の販促回数が増えている。価格も安値傾向にある。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・どのような点に着目したかとの問いには、全てと回答したいと思った。とにかく景気の良い動向は1つも見当たらない。
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年は10連休となったことで5月の売上増を期待していた。確かに、10連休は常に満室が続き、その間の売上は伸びたが、旅館の特性上、収容人員数には限界があり、大幅に売上を伸ばすことはできない。逆に、連休以降の落ち込みが激しく、結果として5月全体では大きく売上が落ちている。
×	通信会社（経営者）	競争相手の様子	・他社の新規進出や営業強化等により、乗換えは引き続き増加しており、厳しい状況である。
×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・4月下旬～5月上旬にかけて、当地は強い凍霜害に遭い、主要産業のりんご、梨、柿に30～80%の被害が発生している。世の中は10連休と浮かれていたが、果樹生産者は沈み切っている。
企業動向 関連 (甲信越)	-	-	-
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響か、春に入ってから住宅リフォームの駆け込み件数が増えている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客によって良しあしはあるが、安定しない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・業種によっては、かなり落ち込んでいるとの情報もある。
	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・宝飾小売店を回ると、「大型連休中やその後は来店客が前年より大幅に減っている」とのことである。展示会は、相変わらず一部上得意の高額購入に助けられて、何とか目標に近い数字は確保できている。関西で行われた国際宝飾展では、中国からの客も前年並みの来場ながら、売上は若干減っている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・米中貿易摩擦等の要因から世界景気が減速しており、工作機械を中心に需要が減少してきている。
	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・原材料がなかなか取れず、価格が上がり始めている。
	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・大型連休で県内への来客数は増加したが、各ワイナリーでのワイン購入単価は下落傾向である。恐らくEUからの輸入ワイン関税引下げが影響しているのではないかと。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・商品販売量が予定量、前年同期実績に届かない。

	金融業（調査担当）	取引先の様子	・米中貿易摩擦の影響が広がっており、製造業の景況感が悪化している。設備投資の見直しの動きもみられるようになっている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・月初の大型連休向けの折込チラシは良かったが、その反動からか、連休後は例年以上に減少している。また、取引先からも「今月末に向けて通常の単価を一時下げるので、発注してくれないか」との問合せがある。
	x	*	*
雇用 関連	-	-	-
(甲信越)	-	-	-
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・職業安定所の求人数が減っていても、相変わらず正社員募集の情報には殺到している。ただし、ブラック企業が多く、希望する会社に就職できないため、再度派遣会社に相談に来る方も多い。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・人手不足の状態は続いているものの、ここにきて製造業の景気が少し低迷気味である。求人募集広告を掲載する企業が少なくなってきた。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・有効求人倍率は前月より減少しているものの、企業の人手不足感は根強く、先日開催された学生を対象とした就職フェアには、過去最高を記録した前年度並みの、多くの企業が参加している。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人は業種によって変化が大きくなりつつあるものの、全体としては、大きな変化がない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて求人数は少なくなっているが、季節的な要因も大きいと思われる。前年同月との比較では、有効求人倍率に大きな減少はみられない。
	x	-	-